

事業活動地球温暖化対策計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 〒100-6214
 住 所 東京都千代田区丸の内1-11-1 PCP丸の内14階
 氏 名 ラサールロジポート投資法人
 執行役員 地紙 平

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ラサールロジポート投資法人		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区東扇島7-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	47	倉庫業
主たる事業 の内容	倉庫業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,306 k l	
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数	台	
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2023 年度 ~ 2025 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

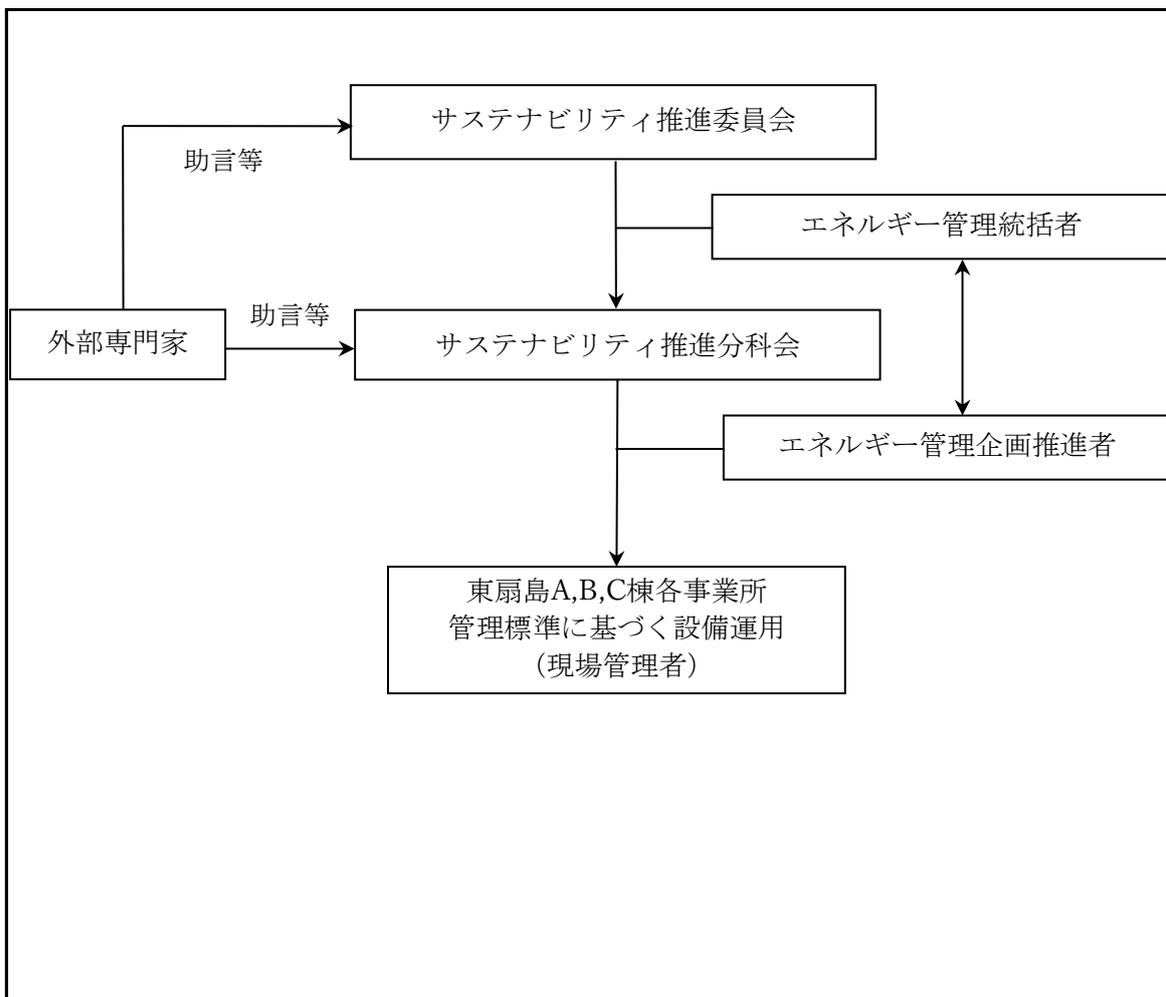
1. 全体の基本方針
 次の4つの方針により、積極的な地球温暖化対策を進める。
 (1) 地球環境に配慮し、エネルギー消費効率の向上及び効果的な使用に努め、エネルギー消費の改善を図る。
 (2) エネルギー管理体制の整備を図るとともに、設備利用の省エネルギーに関する意識の啓発に努める。
 (3) エネルギーを消費する設備の運転管理及び計測記録、保守点検などに関して、管理標準の個票を設定し、これに準拠した管理を行う。
 (4) 省エネルギー活動に対して継続的改善を図るとともに職場環境の維持・改善に配慮する。

2. 市内工場の基本方針
 (1) 3年間の計画期間で事業活動地球温暖化対策指針にある基本及び目標対策項目を積極的に実施、推進する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

エネルギー使用の合理化に関する管理体制と運用方法は、次のとおりとする。
 (1) 年1回開催する「サステナビリティ推進委員会」においてエネルギー管理方針等に関する事項及び目標等の環境対策の検討や立案、加えて目標の達成状況の把握や設備改修による削減効果の検証等を行う。
 (2) 年4回開催する「サステナビリティ推進分科会」において省エネルギーの促進のための設備の修繕、改修、更新、保守点検などの具体的方策を検討する。
 (3) 上記で検討された方策について各事業所で実施された結果は「サステナビリティ推進分科会」および「サステナビリティ推進委員会」に報告され、次のエネルギー管理方針の検討に活かされる。
 上記の方針を持ってPDCAサイクルを実行・管理する

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2022				年度
目標	年度	2025				年度
基準	排出量	(実)	6,349	(実)		
		(調)	6,979 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実)	6,159	(実)		
		(調)	6,770 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削減量		(実)	190 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実)	190 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		年間稼働床面積			
原単位の単位		t-CO ₂ /千m ²			
基準年度の値		0.9496			
目標年度の値		0.9213			
削減率		3.0 %			

ウ 目標設定に関する説明

<p>当社はエネルギー管理規定によって事業者単位で年1%のエネルギー消費原単位の削減を目標としている。川崎市の目標設定は、事業者全体の目標に基づき、二酸化炭素排出量及び排出量原単位を年間1%削減する事を目標とし、3年間で3%の削減を目指す。</p> <p>なお、以下の施策により削減に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備機器の更新、照明のLED化による削減 ・空調、点灯時間などの適正管理 ・クールビズ、ウォームビズの推進 ・テナントへの啓蒙活動

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	①管理標準設定項目の遵守 ・管理標準に基づき、主要設備の適正運用を行う。 ②高効率空調の導入 ・LP東扇島A, B, C棟の事務室空調機を高効率空調へ更新する。 ③LED照明への更新及び点灯時間の低減 ・事務室、車路及び倉庫の照明をLED照明へ更新する。 ・間引き点灯や、スケジュール制御により点灯時間を低減する。 ④外部専門家の活用 ・LP川崎ベイで外部専門家による省エネ診断を受診する。
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

①管理標準の作成 ・LP東扇島A, B, C棟及びLP川崎ベイに設置済みの主要設備において管理標準を作成した。 ・LP東扇島C棟において管理標準の見直し更新を実施した。 ②空気調和設備高効率化 ・LP東扇島A, B, C棟の一部空調を高効率エアコンに更新した。 ③LED照明の導入 ・LP東扇島A, B, C棟のトイレ及び給湯室に人感センサー付LED照明を採用した。 ・LP東扇島A, B, C棟の車路、倉庫、事務所照明の一部をLED照明に更新した。 ④太陽光発電設備の導入 ・LP川崎ベイの倉庫屋上に太陽光発電設備を導入した。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	LP川崎ベイ倉庫屋上にシステム容量3,620kWの自家消費用発電パネル設置	2022年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示等によるテナントへの省エネ啓蒙活動を行う。 ・自家消費用の太陽光発電設備を導入しテナントの温室効果ガス排出量低減に貢献する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の減量化・分別化（段ボールの流通再資源）を推進する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	6,349	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

3,306	KL
-------	----

ウ 事業所の数

4

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
ロジポート川崎ベイ	神奈川県川崎市川崎区東扇島7-1	2,810 t-CO ₂
ロジポート東扇島B棟	神奈川県川崎市川崎区東扇島15	1,380 t-CO ₂
ロジポート東扇島C棟	神奈川県川崎市川崎区東扇島19-2	1,244 t-CO ₂
		t-CO ₂